



小出三郎 「瓶花」

(会員)

宇都宮義文
畝一雄
太田貞雄
佐藤裕幸
鈴木忠男
中井嘉文
野口勉
福井豊
福田豊万
堀良慶
和田孝明

(ゲスト)

和田幸子

(敬称略・50音順)

NPO法人あーと・わの会 通称：「わの会」

第43回放談会



2015年10月24日(土) 13時～16時
於 東京・京橋区民会館 洋室2号室

第43回放談会

1. 日時 2015年10月24日(土) 13時～16時
2. 場所 東京・京橋区民会館 洋室2号室
3. 出席者(計12名、敬称略、50音順)
＜会 員＞宇都宮義文、畝一雄、太田貞雄、佐藤裕幸、鈴木忠男、中井嘉文、野口勉
福井豊、福田豊万、堀良慶、和田孝明
＜ゲスト＞和田幸子
4. 司会進行:佐藤裕幸、 書記:鈴木忠男、 写真・編集制作:野口勉
5. 放談会(発表順)

① 和田孝明



工藤甲人 (1915～2011年)
「遊」 岩絵具、油彩・キャンバス 39.5×50.0cm 制作:1992年頃

青森県弘前市生まれ。川端画学校日本画科を卒業後、福田豊四郎に師事した。自然の昆虫や小動物、植物の葉などを繊細な描線で描き、その周りを群青などの単色の岩絵具で色面を大きく取り、装飾的に感じるような構図が特徴とされる。東京芸術大学、沖縄県立芸術大学で教鞭を執り、後進の育成にもあたっていた。2002年には、神奈川県庁に飾られていた工藤の作品が盗難の被害に遭ったこともある。2011年老衰のため神奈川県平塚市で死去。(95歳)

平塚市美術館に作品名「冬玄郷一妝」(160.2×197.2cm)という同じ絵の作品が収蔵されている。

＜談＞和田:2015年青森県立美術館で見てその後購入したもの。

② 中井嘉文



鈴木政輝 「牛の語らい」 油彩・キャンバス P6号 制作年：不詳
「帆船」 油彩・キャンバス SM号 制作年：不詳

- 1924年 島原市生まれ
- 1945年 この年から国内および諸外国に作品発表、ヨーロッパほか多くの国を訪ね帆船、海洋の研究取材
- 1983年 大阪での帆船フェスティバル
- 1985年 練馬区立美術館開館記念展に招待出品、横浜氏が作品収蔵
- 1986年 運輸大臣室が作品収蔵 1988年 海の記念日に運輸大臣賞
- 1989年 内閣総理大臣より観桜会に招かれる 1993年 船の科学館が作品収蔵

近頃はもっぱら帆船画家として知られている。本日お持ちした作品は帆船に取り掛かる前の作品と思われるが、制作年の記載がない。如何にもフランスのバルビゾン派を思わせる作品で珍しいものと思います。鈴木政輝氏は豊島園を見下ろす高層マンションにアトリエを持ち自宅から通っているそうです。

③ 福井豊



川島理一郎 (1886～1971年)
「中国風俗素描」(仮題) 水彩・紙(軸装) 23.0×26.5cm 制作年:1938～9年

従軍先の素描だが現地の一般人や子供を観察する画家の視線はやさしい。前回出品ヴィンセンシオ・山崎の師。

1886年栃木足利生まれ。1890年祖父母と東京に居住。1905年19歳で渡米。1911年渡仏。
1913年同い年の藤田嗣治と親交、パリ郊外に小屋を建て古代ギリシャ風衣装で農耕、自給自足共同生活。この頃パリ風俗を盛んに水彩素描。1915年大戦下、藤田やザッキンと赤十字参加。
1919年33歳で初帰国。1920～2年渡欧。1924年上海、蘇州、南京旅行。白日会創立。結婚し渡欧。1926～27、30年渡欧。1926～35年国画創作協会出品。1937年文展審査員。1938年陸軍嘱託北京派遣。1939年陸軍美術協会発起人、広東、北支派遣。1941～3年タイ、ベトナム、フィリピン派遣。1946年女子美教授。1948年日本芸術院会員。1951年渡欧。1955年新世紀美術協会創立。1960年以降、抽象作品描く。1965年勲三等瑞宝章。
1971年東京で没、享年85歳。

* 展覧会図録(栃木県立美術館(02年)と絵葉書(群像)を回覧。

④ 宇都宮義文

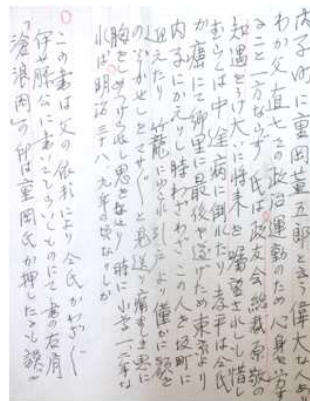
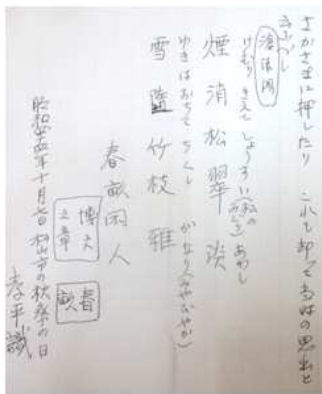


(箱書は祖父の字)



伊藤博文(1841～1909年)
「雪景偶成」書(軸装) 125×41cm 制作年:1903年

本年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」に登場する人物の書である。美術作品ではない。
書の字句は「煙消えて 松翠淡し 雪は墮ちて 竹枝雅なり」と読むとのことで勝手に題名を付けた。



(父が私的に書いたエピソード)

⑤ 福田豊万



豊泉朝子「目のシリーズ」ペン画



手作りカレンダー 制作:まあるい広場

豊泉朝子:1986年多摩美大学院修士課程修了。1988年期待の新人作家大賞展大賞。
以降 ポーランド、ドイツ、オランダ、ベルギー、ユーゴスラビア、ロシア、フランス、ソウル
カイロ、スペインなど世界各地の展覧会出品。多彩な版画技法を駆使して作品を制作。
＜所蔵＞女子美大、町田市立国際版画美術館、日本書票協会、多摩美大、フランスPバイ
ユ美術館、カイロ国際アートセンターなど

＜談＞鈴木:紹介のあった榎本吉隆展(テムズ:武蔵小金井)見に行きます。
宇都宮:手作りカレンダー良くできています。1,500円とは廉価なので2本購入します。

⑥ 堀良慶



小出三郎（1908～1967年）「瓶花」 油彩・キャンバス 53.0×40.9cm

私はフォーヴの作品、作家が好きで独立美術協会の作家の作品を三十数名、50点ほど集めてきています。未だサラリーマン時代、神田神保町にあった“いのは画廊”に営業活動の止まり木として立ち寄った時、この絵に出会いました。よい絵だと思い買い求めました。特に瓶および瓶台の深い青色の色彩が眼に飛び込んできて値を聞かずについ！“買います”と言ってしまいました。この作品がご縁で三浦徹さんと友の会の鈴木英二さんの小出作品をお借りして、柏わたくし美術館では小出三郎展を開催させていただきました。小出三郎を知ったのは星野画廊の星野桂三さん、藝林の梅野隆さんからでありました。

<談>堀：マラガピカソ美術館に行ってきました。ピカソ像の隣に座り写真を撮りました。

⑦ 太田貞雄



森田茂（1907～2009年）「バラ」 油彩・キャンバス SM号 制作年：不詳

黒川能・富士山・薔薇の静物画等を重厚なマチエールと鮮やかな色彩に豪快な筆致で描く。1925年茨城県師範学校を卒業後に熊岡洋画研究所に入所して熊岡美彦に師事。1934年に帝展初入選、1938年には文展で特選を受賞し本格的に画家としての道を歩み始めた。そして1965年に山形県羽黒山で観た黒川能に感銘し作品の題材として描き始め、1966年の新日展で、それを題材にした作品で文部大臣賞を受賞し1970年には日本芸術院賞を受賞する。1976年日本芸術院会員に任命され翌年の1977年に東光会理事長就任、また日展顧問等を歴任し、1989年文化功労者顕彰、1993年文化勲章授与。

<談>太田：初めに「黒川能」を購入、「富士山」は未だ入手していないので欲しい。

⑧ 佐藤裕幸



寺島紫明（1892～1975年） 「春」 紙本・彩色 51.4×31.6cm 共シール

美人画(東の深水、西の寺島紫明)、明石市生まれ、清方に師事。
シンプルな絵ながら画品のある力強い女性像。主に市井の中年の女性を得意にした。
独特の女性観照で大柄な姿態に妖艶な雰囲気漂う美人画を描いた。

⑨ 鈴木忠男



藤平伸（しん） 「三禮童子」（三礼童子）陶磁器 10×15cm 制作年：1993年

1993年の寛土里（ホテルニューオータニ内）個展にて25万円で購入した。ちなみに91年には「花壺」を25万円で購入している。手びねりの人像が良い。
1922年京都市に生まれる。1953年日展に初出品で入選、1968年会員となる。
1970年京都市立芸術大学美術学部助教授に就任、73年教授に就任。2012年逝去（89歳）

没後初の回顧展を智美術館で開催中（8～12月）

陶器のほかオブジェ、陶彫、書画を展示している。水滴、辰砂に特長がある。

⑩ 野口 勉



和田三造 昭和職業絵巻72枚のうち

- ①「洋楽師」 ②「巡礼」
28×38cm 昭和14年6月刊

博物的資料として後世へ残すべき版画集である。
現在、45枚収集できた。72枚完結した際は地域で
展覧会を開催したい。

<談>堀:盛岡橋本美術館(橋本八百二が創設、
平成13年閉館)に「昭和職業絵巻」コンプリートがあった。

鶴田吾郎 昭和54年鶴田吾郎展の出品作

- ①「鷹の巣」
コンテ 27.5×40.8cm 昭和29年
②「練習中のオーケストラ」
淡彩 35.0×53.5cm 昭和33年

働く人々の姿を多く描いた。鶴田の画には人の匂いが
深く刻み込まれている。

文責:鈴木忠男

○出席会員(見学)
畝一雄さん(金沢)

鴨居玲のこと、地元画家、収集のことなど熱い
お話をいただきました。



○放談会終了後、希望者5名で懇親会を実施しました。

○次回放談会は平成28年1月に実施予定です。

＜平塚市美術館のリーフレット＞
わの会展 2015. 12. 5～2016. 2. 7



＜編集後記＞

梅野記念絵画館の梅野隆さん(故人)は「蒐集もまた藝術である」と言われたが、放談会を重ねていくごとに痛感する熱い言葉である。多くの方の蒐集にはそれぞれの個性があり、学びあい吸収するものがある。謙虚に他人の蒐集品からも感じとるものがあるからこそ深い藝術の心が生れてくるのではないかと。放談会はそのような絶好の場である。(の)

発行：NPO法人あーと・わの会 通称「わの会」
発行日：平成27年11月吉日
編集：実行委員
佐藤裕幸(司会進行) 鈴木忠男(書記) 野口勉(写真・編集制作)

連絡先：事務局 〒277-0871 柏市若柴1-358 堀良慶
TEL 04-7134-8293 ryokeihori@yahoo.co.jp

発行部数：80部